

第2回火災避難訓練実施計画

令和6年1月15日
避難訓練担当

1 目的

本校防火計画にのっとり、火災およびその他の災害時における生徒の安全確保と被害防止のために行う。火災発生時の訓練を行い、避難訓練、通報訓練を行うものとする。

2 日時 令和6年2月1日(木) 13:30~13:40
昼休み

3 実施内容の詳細(今年は、プランBを実施)

※ 二つのプランを設定し、隔年ごとに実施する

プランA

出火場所: 家庭科室

避難場所: グラウンド(野球場側)

プランB

出火場所: 職員室又は理科室

避難場所: 職員駐車場

朝の会	事前指導
13:28	火災発生
13:30	避難開始 集合・安否確認 避難訓練担当からの話
15:25	スリッパ洗い終了
16:45	終了

(1) 学級担任による事前指導(朝の会)

内容の説明(目的、避難場所、避難経路、避難要領について)

①目的

②避難経路—放送を聞き、放送を聞いて各個人の判断で避難する。

③避難場所

- ・集合場所(職員駐車場)では右から1年・2年・3年の順で整列。(集会隊形)
(授業者と学級委員で人数確認をする)

※雨天時は体育館に入場し、同様に整列する。

④避難要領(生徒へ)

- ・放送をよく聞く。
- ・発火点や危険な出口を指摘し、安全な出口へと避難場所を指示する。
- ・避難の三原則「**押さない、走らない、しゃべらない**」を徹底して守る。
- ・煙を吸わないように、ハンカチで口を押さえ(忘れた生徒は、手で口を押さえる)、姿勢を低くして校内を避難する。
- ・校舎外に出たら、スリッパのまま避難場所に急行する。
(非常の場合、物を取りに帰るのが最も危険なのでしないようにする。)
- ・学級委員は、避難場所に集合後、人員確認して担任に報告するよう伝える。
- ・終了後、スリッパの拭き取りのため、各学級のボランティア委員は下駄箱にぞうきを準備させる。(ボランティア委員会担当)

鳴らす前に
Q ネットや
業者(立尾防
災)等に連絡

(2) 火災発生時の流れ(担任の説明後の時間帯)

- ・非常ベルを鳴らす。(事務室)

- ・事務室に集合し、役割カードを配布する。
- ・火災発生現場で初期消火（確認の際、消火器や消火栓を使う）
- ・放送による緊急連絡（カードで決定）※計測開始 防火シャッター（無し）

(3) 避難要領（カードで決定）

- ・生徒の居残りの有無を確認する。電気を消して避難する。
- ・集合後は、直ちに「学級委員→担任（学年部）→教頭先生」へ人員確認。
○さわやか学級の生徒に関しては、当該の担任に報告する。
○保健室などにいる生徒に関しては、養護教諭（支援委員）で避難の援助をし、避難が完了したことを学年部に伝える。

(4) 集合・講話（司会 安全担当）

- ・避難場所 A は野球場、講話は国旗掲揚台前
（放送器具準備）放送委員（放送委員会担当）
- ・避難場所 B は、職員駐車場（火の手が伸びれば崖を下りる）
- ・講評（校長先生より）
- ・諸連絡 スリッパの拭き取りを確実に行わせるよう指示をする。

(5) 教室へ移動後

- ・5時間目の授業の準備をする。

4 役割分担

（事前）避難訓練担当が芦北消防署に消防訓練実施計画書を提出する。（安全担当）

(1) 通報

校内放送終了後、教頭先生が119に訓練通報する。

（5分程前に水俣通信室：(0966-63-1191)に連絡して訓練であることを事前に連絡する。）

「湯浦中学校です。訓練火災です。」と伝える。

(2) 初期消火・避難誘導・被害状況調査・救護等

全職員が事務室に集合しアクションカードを使用し先生達に指示を出す。

(3) 計時

放送終了から人員報告完了までの計時を行う。（防災主任）

（事後）避難訓練担当が芦北消防署に消防実施報告書を提出する。（安全担当）

役割1 校長 教頭	総指揮官 ・通報と指示 （役割カード配布）	役割4	救護班 ・負傷者の搬出や救護にあたる。
役割2	連絡班 ・放送または大声で校内に火災の発生を知らせる。	役割5	避難班 ・避難者の把握、人員確認を行う。 ・生徒避難等の様子を写真に記録する（田浦）
役割3	消火班 ・最寄りの消火器、消火栓で初期消火にあたる。 ・全体の確認（消火栓等）	役割6 事務職員	・ベルを鳴らす。 ・事務室でベルを止める。

いつ	どこで	放送器具	けが人
授業中・休み時間・給食	教室・特別教室・その他	使える・使えない	重傷・軽傷・なし

放送：（放送は、緊急時のボタンを押して流す。）「訓練放送です。（理科室）で火災が発生しました。生徒のみなさんは火元から遠ざかるルートを通って、（職員駐車場）へ慌てずに避難してください。」

放送器具が使えない：「火事だ。（職員駐車場）へ避難しろ。（何回も叫びながら）」